

八戸駐屯地広報紙創刊号



八戸

陸上自衛隊
八戸駐屯地広報紙
発行所
八戸駐屯地後援会
印刷
中長印刷



地域の皆様におかれましては、平素から陸上自衛隊八戸駐屯地へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、陸上自衛隊八戸駐屯地後援会皆様のご尽力により、地域の皆様に八戸駐屯地をより理解していただくことを目的に広報紙「八戸」を創刊することとなりました。

八戸駐屯地は、終戦後の昭和31年3月、米陸軍の引き揚げに伴い、同年5月に第5普通科連隊が移駐して創立されて以来、幾度かの部隊改編を経て現在の体制に至っております。駐屯部隊がこれまで、我が国の防衛任務のみならず、国際貢献活動、災害派遣等の様々な任務を完遂してきましたのも、地域の皆様のご協力の賜物であると深く認識しております。

このたび、陸上自衛隊八戸駐屯地広報紙「八戸」が創刊されますことを心からお祝い申し上げます。

陸上自衛隊八戸駐屯地の皆様におかれましては、災害時の救助・復旧活動など、市民の生命と財産をお守りいただいているほか、地域との交流や隊員の皆様による経済活動を通じて、当市の活力維持に大きく御貢献いただいているところであり、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、自衛隊を取り巻く環境が複雑・多様化し、我が国の防衛はもとより、災害時における救助・復旧や国際平和協力業務など、多岐にわたる活動が求められております。

さらには、国際情勢も目まぐるしく変化しており、

我々陸上自衛隊が任務を遂行する上で地域の皆様との連携は重要であり不可欠です。このため、春の駐屯地創立記念行事や夏の納涼盆踊り大会今年度はいずれ

「八戸」創刊のご挨拶



陸上自衛隊 八戸駐屯地 隊長 兼 第4対艦ミサイル連隊 佐松 隆志 一等陸佐

も新型コロナウイルス感染症の影響により中止などの各種イベントの開催、中高生生徒・企業の新入社員への体験搭乗隊入隊、への体験搭乗の他、陣太鼓演奏をはじめとする、隊員の地域行事への参加などを

に緊急出動した隊員の家族に対する各種支援に関する協定を締結させていただき、任務遂行の実効性を向上させることができました。更に昨年は、八戸駐屯地後援会を発足していただき、任務遂行を支えて頂く態勢

を通じ、駐屯地及び隊員を身近に感じていただければと思います。また、八戸駐屯地は一年、八戸市及び社会福祉法人「徳望会」様と災害時な

を強化していただきました。このように、引き続き地域の皆様との相互理解、連携強化を図っていきたく考えております。

今後、広報紙「八戸」を通じ、駐屯地の活動を地域の皆様に分かり易く情報発信できるように駐屯地の出来事や部隊訓練の様子、隊員の紹介など紙面の充実に取り組み、今年開設しましたホームページと併せて、適時に情報を発信してまいります。

結び、八戸駐屯地は引き続き「地域とともに」をスローガンに皆様の信頼と期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。本紙創刊のご挨拶といたします。

このような状況にあつては、国の平和の維持と国際社会の安定に貢献する自衛隊について、正しく理解することが重要であります。

現在、台風シーズンを迎

を身近に感じていただき、地域の皆様とのつながりの一助となることを御期待申し上げます。

広報紙の創刊を祝して



八戸市長 小林 眞

今般の広報紙の創刊を通じて、八戸駐屯地に所在する部隊の任務や訓練の様子などを地域の皆様に分かりやすく紹介することで自衛隊

えており、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大による複合災害への対応が迫られる中、当地域においては、

結び、八戸駐屯地広報紙「八戸」の発行が陸上自衛隊八戸駐屯地の活動の新たな一歩となり、今後ますます御発展していくことを御期待申し上げますとともに、隊員の皆様のご健康ご多幸を祈念し、お祝いの言葉を申し上げます。

八戸駐屯地協力団体からのご挨拶



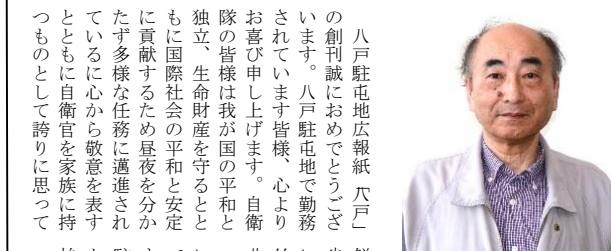
とに心より敬意を表しますとともに深く感謝を申し上げます。我々後援会は、八戸地域の安全・安心の確保に重要な役割を果たしてきた八戸駐屯地が引き続き任務を完遂することを陰で支え、微力ながら応援し活動して行く所存でございます。隊員一人一人が安心して任務を遂行できる環境を整えることができれば幸いです。



ありがとうございます。また、多忙を極める中にあつては、八戸駐屯地の方々におかれては、納涼盆踊り大会の開催に加え、周辺地域の行事への積極的な参加等、地域住民との交流を深めておられます。

陸上自衛隊八戸駐屯地の広報紙が創刊されるにあたり、八戸地区自衛隊協力会を代表してお祝い申し上げます。

八戸駐屯地は、昭和31年5月の開設以来、北日本防衛の要として輝かしい歴史を築いて来られました。これまで青森県南地域の発展と共に歩まれたことは申すまでもございませんが、私共にとりましては、緊急災害時における救援活動をはじめとした日常生活の守護神として心強い存在でございます。



おります。国内に目を向けると9年前の未曾有の東日本大震災、この数年続く大災害の派遣等の活躍、近隣諸国には北朝鮮のミサイル、中国による尖閣諸島領海侵犯、ロシアによる北朝鮮による核実験、国内外とも非常に厳しい情勢です。



除雪や種差海岸、外來植物駆除のボランティア活動、合同活動、また、八戸駐屯地納涼盆踊り大会では共催という形で支援させて頂いております。

この度は、八戸駐屯地広報紙「八戸」の創刊誠にありがとうございます。今年も、新型コロナウイルス感染症防止のため東京オリンピックを始め、各種イベントが延期、縮小活動にしまして深いご理解と御礼申し上げます。また、中止を余儀なくされては、コロナ禍で様々な困難に直面しております。八戸駐屯地自衛隊にあっては大変重要な所屬部隊の益々のご発展と感謝に堪えません。広報は、末筆ながら、八戸駐屯地の真の姿を伝えてください。を祈念致しまして、お祝ひ三八地域支部は、八戸駐屯地の修親会及び曹友会と八戸「えんぶり」会場の

駐屯地主要部隊長からの挨拶



第9後方支援連隊長 陸佐 児玉 龍

八戸駐屯地広報紙の創刊とともに、第9後方支援連隊は八戸駐屯地に所在して11周年という新たな時代を迎えることができ、心より感謝しております。第9後方支援連隊は、師団唯一の兵站・衛生支援隊として北東北の防衛・警備、災害派遣等における補給、整備、輸送、衛生等の各種任務を完遂して国民の皆様への負託に確実に応えられるよう日々修練する所存ですので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第2対戦車ヘリコプター隊長 陸佐 田所 幹久

駐屯地広報紙「八戸」創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

第2対戦車ヘリコプター隊は、創設32周年を迎え、これまで駐屯地各部隊及び協力団体皆様のご支援の下、任務、訓練に邁進して参りました。我々は、対戦車ヘリコプターA1H-1S及び観測ヘリコプターOH-1を装備し、東北方面部隊唯一のヘリコプター火力戦闘部隊として、東北6県の防衛警備、災害派遣等の任務を完遂して参りました。



駐屯地業務隊長 陸佐 隈元 靖彦

はじめに平素よりご理解・ご支援・ご協力を頂いている皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、駐屯地業務隊の業務内容は土地・施設の維持管理、退職手当・災害補償・損害賠償等の処理、糧食・燃料・弾薬の交付、鉄道・船舶等の輸送業務、隊員の給養・福利厚生、保健衛生・医療、六ヶ所所対空射撃場の射場安全・施設管理等の業務を行います。平素から広範多岐かつ専門的な業務により、駐屯地隊及び行動部隊を支援する重要な役割を担っております。今後も駐屯地及び地域との一体化に貢献できる様、精進します。よろしくお願い致します。



第101高射特科隊長 陸佐 征 憲

八戸駐屯地広報紙「八戸」の創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

第101高射特科隊は、東北地方唯一の中距離地对空誘導ミサイル(ホーエ)を装備する部隊として、青森県、そして東北の素晴らしに靑空を護るために日夜訓練に励んでおります。また、災害等が発生した際には、速やかに活動できるよう平素から即応態勢を維持するとともに、自治体の方々とも訓練を行っております。今後は、このような隊の活動状況を広報紙「八戸」を通じて発信して参りますので、どうかご愛読頂きますようお願い申し上げます。



第9施設大隊長 陸佐 渡部 典正

駐屯地広報紙「八戸」の創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

第9施設大隊は、創隊以来63年、第9師団唯一の施設科部隊として、北東北における災害派遣、部外工事等の任務を完遂して参りました。これもひとえに、皆様のご理解、ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。我々一同、施設技術の錬磨を怠ることなく、災害派遣等与えられた任務に即応必遂し、郷土の皆様への負託にお応えする所存です。引き続きよろしくお願い致します。



第9飛行隊長 陸佐 鈴木 昭司

駐屯地広報紙創刊にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

第9飛行隊は創設63周年を迎え引き続きこの八戸駐屯地において伝統を継承し任務の完遂に努めていく所存です。我々、第9飛行隊の隊員は多用途ヘリコプターUH-1Jを駆使し、北東北の災害派遣等に即応できるよう、一丸となり昼夜を問わず厳しい訓練を行い、災害等発生の場合には速やかに行動し任務を完遂してまいりますので、どうか引き続きご理解のほど、よろしくお願い致します。



第9 後方支援連隊



新連隊長着任

令和2年8月1日付で、児玉 龍（こだま りょう）1等陸佐が第十六代 第9 後方支援連隊長として着任した。第9師団長への申告後、八戸駐屯地体育館において着任式に臨んだ児玉連隊長は、各駐屯地から参集した隊員に対し、「強靱な第9 後方支援連隊の創造」

を目標とし国民の負託に確実に応えることができるよう、隊員を育成する。」と述べ、「プロ意識」「連携」の二点を要望事項に掲げた。

連隊は、連隊長を核心としてプロとしての自信と誇りを持って積極的に職務に邁進していく。

国際緊急援助隊訓練



『万全の態勢を確立』

第9 後方支援連隊は、令和2年度国際緊急援助隊態勢維持部隊として、部隊統一訓練、総合訓練と段階的に訓練を重ね、確実に任務を完遂できる万全の態勢を確立した。

国際緊急援助隊

国際緊急援助隊とは、被災国政府等の要請に
 応じ、救助活動、医療活動、防疫活動、その他の災害応急対策及び災害の復旧活動のために派遣される部隊のことである。



第4 地对艦ミサイル連隊

令和2年度東北方面特科隊訓練検閲



**『誇りを持って』
連日猛暑を克服し任務完遂**

連隊長 松坂1佐 (写真中央)



夜間において迅速な対艦射撃姿勢をとり正確な発射時刻に地对艦誘導ミサイルを発射する発射機

第4地对艦ミサイル連隊は、令和2年8月25日（火）～8月31日（月）の6夜7日にわたり、宮城県王城寺原演習場において、「令和2年度第一回東北方面総監直轄部隊訓練検閲」を受閲した。

本訓練検閲を受閲するにあたり、松坂連隊長は隊員に対し「誇りを持って」「全ての行動を対艦射撃に帰せよ」「健康管理及び安全管理の徹底」の三点を要望して訓練に臨んだ。約1週間に及ぶ訓練検閲の間、日照りの厳しい猛暑の中、新型コロナウイルス感染症ととりつつ、1週間以上に及ぶ掘開作業などによりミサイル射撃のための陣地を構築して敵の航空攻撃、遊撃活動など敵の攻撃から健在した。訓練終了前日には補給班が冷やしうどんを作った隊員に振る舞い、士気を向上させ、ひとりの隊員も欠けることなく対艦射撃任務を完遂した。



駐屯地業務隊



対空実射訓練の状況

六ヶ所対空射撃場 安全支援

業務隊は駐屯地所在地部隊をはじめ近傍で訓練する部隊に対し、整齊・肅々と各種支援を行っている。また、隊員一人ひとりが、駐屯地、演習場及び隊員の宿舎等の管理業務を継続的に実施し、駐屯地の即応性、勤務環境の向上及び隊員の福利厚生等に貢献するため、隊員一丸となって業務を継続中である。

業務隊の任務の一つに六ヶ所対空射撃場における射撃安全支援及び射撃部隊に対する管理支援があり、毎年4月上旬から2回の射撃準備に引き続き、7月から11月上旬まで対空射撃訓練を支援する。これに携わる隊員は、対空射撃訓練期間の約4ヶ月間、近傍にある



第2 対戦車ヘリコプター隊



2段蛇腹鉄条網の構成



土嚢による弾薬集積所の強化

総監検閲受閲

第2対戦車ヘリコプター隊は、令和2年8月25日～31日の6夜7日にわたり、宮城県王城寺原演習場において、コロナ禍及び猛暑の中、令和2年度第一回東北方面総監直轄部隊訓練検閲を受閲した。昨年度から日々訓練を重ね、東北方面航空隊検閲評価『概ね優良』の原動力となる成果を上げることができた。

本記事が掲載される頃は、次の目標である北海道におけるヘリコプター射撃訓練の真つ最中である。

方面総監表彰

去る令和2年7月15日、東北方面総監部において前期方面総監表彰が執り行われた。この度、6名の隊員が受賞した。受賞の概要は以下のとおり。

方面隊の隊務運営に貢献し、職務遂行の功績により第3級賞詞を1名、また、自衛官募集の重要性を深く認識し、隊員自主募集情報を提供し、募集業務に寄与した功績により第3級賞詞を1名、第4級賞詞を1名、第5級賞詞を3名がそれぞれ受賞した。



IFARP班による燃料・弾薬再補給



第9施設大隊

第3中隊 訓練検閲



大隊は、令和2年5月23日(土)から27日(水)までの間、岩手山演習場において、第3中隊訓練検閲を実施した。第3中隊(中隊長 田中1尉)は、中隊長要望事項である「任務達成のため、あくなき追求」を隊員一人一人がよく理解し妥協することなく、中隊一丸となって任務を完遂した。

令和2年度6月岩手山演習場統一整備



大隊は、令和2年6月21日(日)から29日(月)までの間、岩手山演習場において、令和2年度6月岩手山演習場統一整備を実施した。

整備項目として、本部管理中隊は、幹線道、爆破訓練場、各停弾提及び甚大損傷道路整備を、第1中隊は、新設まへり道整備を、第2中隊は、まへり道整備を、第3中隊は、まへり道整備を担当した。本整備は、5月に行われる予定の整備であったが、新型コロナウイルスの影響もあり延期、また、整備期間が短縮となり、非常に厳しい日程となるも、大隊一丸となって感染防止に努めながら任務を完遂した。



第101高射特科隊

新標的システム戦力化訓練



新標的システム

隊は、令和2年6月4日(水)から10日(水)までの間、北海道にある静内対空射撃場において、新標的システム戦力化訓練を実施した。
本訓練は、新標的システムの製造メーカー(川崎重工・NEC)からの教育を受け新標的システムの取り扱い及び操作に関する識能を修得するとともに、六ヶ所対空射撃場における対空実射訓練支援の万全を図った。

ホーク部隊実射訓練検閲(ASP)練度点検

本練度点検では、ASPの評価のうち、器材準備、ミサイルの準備、射撃準備及び模擬実射(シミュレータ)を使用した評価し、クルーの練度が隊の設定した中間目標に到達していることを確認した。
今年度は、新型コロナウスの影響により米国のASP

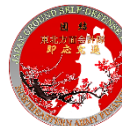
隊は、令和2年7月7日(火)〜8日(水)の間、八戸駐屯地内の高射教育訓練場において、今年度三回目のホーク部隊実射訓練検閲(ASP)練度点検を実施した。

目標「日本一獲得」

Pは中止となり、実弾による射撃及び実戦訓練に対する対空戦闘の訓練が実施できないことは、非常に残念であります。訓練計画を修正し、国内の評価のみになっても、「日本一獲得」を目指して日本一厳しい訓練を継続する所存である。



ミサイルの準備



第384会計隊

会計隊統一練度判定訓練



至近距離射撃

特殊武器防護訓練

令和2年6月12日(金)から14日(日)までの間、東北方面会計隊統一練度判定訓練に参加した。昨年度の東北方面総監直轄部隊訓練検閲の練度維持の観点より本年度も実施し、今年度は、方面会計隊全ての部隊が八戸駐屯地に集結、至近距離射撃及び特殊武器防護の訓練の練度を競った。

会計隊集中野営訓練



有線を埋設する隊員

令和2年7月3日(金)から5日(日)までの間、王城寺原演習場において第一回東北方面会計隊集中野営訓練に参加した。2夜3日の連続した状況の下で行われた訓練は梅雨時期にも関わらず、初日は快晴に恵まれ真夏のような天候の中、状況は開始された。
2日目より時折激しく降る雨の中、夜間陣地進入から遊撃対処陣地構築を実施した。1名の体調不良者も出さず部隊の精強さを確認した。



第9飛行隊



夜間における25km徒步行進

第9飛行隊は令和2年6月1日(月)から5日(金)までの間、「飛行隊の基本基礎練度の向上」を目的として八戸演習場において第二回飛行隊訓練を実施した。
八戸駐屯地における隊容検査の後夜間における地上部隊、次いで航空

機の展開地への推進から始まり、激しい雷雨、転じて炎天下の厳しい状況の中で訓練となったが、隊員は一丸となり、師団の作戦に最大限寄与する為あらゆる任務を完遂した。併せて飛行隊は、令和2年6月18日(木)から19日(金)及び同年22日(月)から23日(火)にかけて、八戸演習場において夜間における25キロ徒步行進を実施した。昨年度の新入隊員を始め夜間行進に初参加の隊員は少なかつたが、事前の練成の甲斐もあり、一人の落伍者も出さず、全員が完歩した。
飛行隊は災害等各種事態に対して即動必達し得る態勢を維持しつつ今後も日夜訓練を積み重ね、今年11月に控える師団長訓練検閲受閲に向けてさらに練度の向上を目指す。



対空戦闘射撃



ホイスト装置による人員救助



第102特科直接支援隊 直接支援中隊

第102特科直接支援隊は、令和2年7月7日から8日までの間、高射DS第2工場及び八戸演習場において、第一回隊訓練を実施した。本訓練では、「HMGの取扱及び操作」「CP及び施設の開設及び撤収」「車両の回収」「検知除染班の行動」「対特殊武器防護」「進入準備及び陣地偵察」を機能的に実施し、特に「車両の回収」においては、大型車両の回収能力の向上を図ることを目的として、各種操作及びけん引要領等について実施した。



格闘検定



車両整備



第38普通科連隊 第3中・4中隊



予備自衛官訓練開始式



スカウト(識別)訓練

令和2年度第2次予備自衛官招集訓練を7月31日から8月4日までの5日間実施した。コロナウイルスの影響で第一次訓練が中止となり、実施された本訓練では最大149名の予備自衛官を迎え各種訓練を実施した。



至近距離射撃訓練



個人携帯対戦車弾縮射撃訓練

車の電装のことなら、せ〜んぶフロにお任せ!

カーナビ オーディオ 計器 ワイパー スターター

故障・修理 販売・取付

今すぐ相談 下さい

イグニッション ホーン ランプ エアコン オルタネーター バッテリー

カーエレクトロニクスのコンサルタント
南部電機株式会社
代表取締役社長 塚原 隆市
本社/〒031-0071 八戸市沼館一丁目20-5
TEL.0178(43)9911(代) FAX.0178(43)6666
http://www.nanbudenki.co.jp

第301高射直接支援隊



大型車の回収訓練

第1整備班から参加した菅原3曹は、「回収の一連の行動及び器材の取扱について自信がつくとともに、終了後に実施したAARにより情報を共有することができ、とても有意義だった」と自信を持った様子だった。隊は、被支援部隊が保有する重要装備品の不足事態発生時に迅速かつ確実に回収するため、今後も能力の維持・向上を図る。

隊は、令和2年7月7日から8日までの間、高射DS第2工場及び八戸演習場において、第一回隊訓練を実施した。本訓練では、「HMGの取扱及び操作」「CP及び施設の開設及び撤収」「車両の回収」「検知除染班の行動」「対特殊武器防護」「進入準備及び陣地偵察」を機能的に実施し、特に「車両の回収」においては、大型車両の回収能力の向上を図ることを目的として、各種操作及びけん引要領等について実施した。

第1回隊訓練を実施

一レンジャー養成訓練から帰還一

第9師団レンジャー養成訓練に参加し、個人の体力・気力の限界に挑戦した。当初32名いた学生は、帰還式時においては、20名となっていた。本訓練は無事終了した篠田3曹は「今後、レンジャー訓練で養った知識・技能を部隊に還元し、部隊の精強化に貢献したい。」と抱負を語った。



篠田3曹は、令和2年度第9師団レンジャー養成訓練に参加し、個人の体力・気力の限界に挑戦した。

4中隊長着任式



令和2年8月1日付で第5陸曹教育隊(久留米)より「使命感を持つ」「充実感を得よう」の2点を要望事項とし、第27代4中隊長・1等陸尉、南出安文を迎えて着任式が実施された。

即応予備自衛官招集訓練

新型コロナウイルスの影響により令和2ヶ月遅れの6月から約2ヶ月遅れの6月30日間(連隊として)訓練期間を約90日間設定し実施し、即自隊員予備自衛官招集訓練を開始した。招集訓練は年々上を回った。

○ 産業廃棄物処分業
○ 産業廃棄物収集運搬業

有限会社 東海

代表取締役 大平豊作

〒039-1106 青森県八戸市大字坂本字上島ノ木沢 23-1
TEL 0178-27-9511 FAX 0178-27-9538

おこめのことならこれからも。

株式会社 ライケット

本社 八戸市大字荒野22番地 ☎44-1181
精米工場 八戸市桔梗野工業団地3-7-50 ☎28-2750



東北方面管制気象隊 第1派遣隊

東北方面管制気象隊第1派遣隊(派遣隊長 佐々木一尉)は、令和2年7月31日(金)に航空自衛隊第四術科学校気象幹部課程の郊外訓練研修支援学生ら21名、うち陸自学生6名)を実施した。陸上自衛隊における気象部隊の業務に関する教育及び保有する装備品の展示を実施し、識能の習得に努めた。



第108全般支援大隊 補給中隊八戸派遣隊

大隊による体制移行に係るプロジェクトが立ち上げられ3月移行に向けた準備の中、7月20日(21日)で大隊部隊統制品目の現況調査を実施した。3月の大隊補給体制移行を見据え、物品の返納等、見積りを兼ねて実施された。今後、野整備支援用部品等の選定、支援部隊との調整等を実施していく予定。



第123地区警務隊 八戸派遣隊

警務隊は7月27日「山本防衛副大臣の駐屯地視察」にともない誘導警護及び駐屯地内における道路交通管制を実施した。また、「夏の交通安全県民運動」において7月21日から28日の間、シートベルトの着用及び運転免許証携帯の確認を重点にした交通指導取締を実施し隊員の交通安全意識の高揚を図った。



第305基地通信中隊 八戸派遣隊

「常続不断」の通信回線の構成・維持を目標としている派遣隊は、令和2年7月1日から3日までの間、八戸通信所において、大隊回線構成訓練に参加した。今回の訓練では各人の特技能力を更に向き合わせることであった。また、訓練を通じて構成・維持している



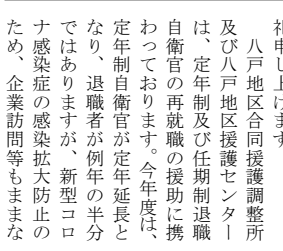
中央輸送隊第2方面分遣隊 第2端末地業務班

中央輸送隊第2方面分遣隊は、令和2年6月23日(火)に中央輸送隊長による令和2年度輸送業務練度評価を受けた。また、青森港新中央ふ頭で第九師団HTC訓練移動におけるPFI船舶(ナッチャンワールド)の端末地業務を実施し、第2端末地業務



自衛隊青森地方協力本部 八戸地区合同援護調整所 ・八戸地区援護センター

八戸駐屯地広報紙「八戸」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。コロナ禍において平素より駐屯地後援会様をはじめ、関係協力会等の皆様、そして退職自衛官雇用企業様におかれましては、八戸駐屯地はもとより、防衛省自衛隊に対するご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



ホテルの人気料理が
お弁当になりました!

麻婆豆腐&
エビチリ弁当

牛サーロイン
ステーキ弁当

各2,000円(税抜)

ご注文・お問い合わせは
八戸パークホテル
TEL.0178-43-1111

三八五引越しセンターは
お客様の新生活を応援します。

単身プラン
ファミリープラン
オフィスプラン

荷物にあわせてサイズが選べる
シングルパック

三三五引越しセンター
☎0120-01-0385

VOLVO

■ボッシュテスター導入
… 各国産・各輸入車診断

■ボルボ専用テスター
… ボルボ専用診断

国産軽自動車から、
VOLVO.JAGUAR.LAND ROVER他
新車・中古車販売 修理

(有)マルコウ吉田自動車工業

〒031-0072 八戸市城下3丁目2-28
☎0178(43)7530
FAX0178(43)7583
http://www.marukoh-yoshida.com/

山本ともひろ防衛副大臣 駐屯地を視察



駐屯地は7月27日、山本防衛副大臣の視察を受けた。駐屯地に到着された山本防衛副大臣は、本部分庁舎において陸幕監理部長、方面幕僚長、駐屯地司令、各部隊長の出迎えを受けた後に懇談に参加された。その後、状況報告を受けた駐屯地の概要をご理解いただいた。

状況報告終了後、第2対戦車ヘリコプター隊格納庫で記念撮影〔上写真〕を実施し、引き続き第4地对艦ミサイル連隊・第2対戦車ヘリコプター隊・第101高射特科隊の駐屯地主要装備品の視察を行い、深い関心を寄せられていた。分刻みの限られた時間ではあったが、八戸駐屯地について深く理解していただいたと思う。駐屯地は今後も、北の守りの要として期待に込えるとともに、地域の皆様から信頼される駐屯地として、全隊員一丸となり精進することを誓い視察を終えた。



状況報告

第4地对艦ミサイル連隊本部庁舎において、青森県東部地区の概要、昭和31年開設以来の駐屯地の歴史、駐屯地所在部隊の現状及び地域との連携について説明を受けた。



第2対戦車ヘリコプター隊 AH-1S搭乗

迅速な機動力をもって長距離かつ広正面にわたる敵を撃破する等の説明を受け、実際に対戦車ヘリコプター(AH-1S)に搭乗し操作する等深く感興されていた。



第101高射特科隊 HAWK III型

改良ホークIII型は、1964年(昭和39年)に基本ホークの導入以来4度にわたる改良を得て現在に至る中距離地对空ミサイルであり、展示されたミサイルに興味を持たれていた。

状況報告

第2対戦車ヘリコプター隊 AH-1S搭乗

第101高射特科隊 HAWK III型

溺れた高校生を救助 業務隊 後藤曹長

9月7日、八戸駐屯地業務隊管理科の後藤曹長は、おいらせ町の百石海岸沖合で溺れた男子高校生を救助した功績により、おいらせ消防署から感謝状を授与された。8月4日、百石海岸で遊泳中だった男子高校生が沖に流され戻れなくなった。趣味のサーフィンで帰って帰宅する前に堤防で運動中だった後藤曹長は助けを求められたため、友人と協力してサーフボードを手に海岸から突堤先端付近に到着し、そこからさらに沖合に流されている男子高校生を確認して2人で向かい、ペットボトルを掴み溺れかけていた男子高



おいらせ消防署から感謝状

9月7日、八戸駐屯地業務隊管理科の後藤曹長は、おいらせ町の百石海岸沖合で溺れた男子高校生を救助した功績により、おいらせ消防署から感謝状を授与された。8月4日、百石海岸で遊泳中だった男子高校生が沖に流され戻れなくなった。趣味のサーフィンで帰って帰宅する前に堤防で運動中だった後藤曹長は助けを求められたため、友人と協力してサーフボードを手に海岸から突堤先端付近に到着し、そこからさらに沖合に流されている男子高校生を確認して2人で向かい、ペットボトルを掴み溺れかけていた男子高



第35代 第9師団長 駐屯地初度視察



3月19日に第35代第9師団長に着任し、要望事項「プロフェッショナルであれ」「強固な絆を築け」を掲げる亀山慎二陸将が4月8日に八戸駐屯地を視察した。第9後方支援連隊島田2尉指揮の下、儀仗を受け、主要幹部挨拶に引き続き、状況報告を受け及び施設巡視を実施し各部隊の状況を把握した。駐屯地防衛館視察においては、八甲田雪中行軍遭難資料、旧軍資料等、駐屯地の歴史に深く興味をお持ちになられた様子であった。最後に郷土玩具である隊員手作りの八幡馬と共に記念撮影を行い初度視察を終了した。

長者様の カニ入り・ウニ入り・シャモロック入り、3つのおいしさで好評発売中!

ハ戸せんべい汁

株式会社 味の海翁堂

031-0942 青森県八戸市野台4丁目1-1
TEL 0178-33-7823(代)
FAX 0178-34-2859
ホームページ http://www.kaido.co.jp/

電話 1本で迅速配車のお迎え

ポストTAXI ポストタクシー

フリーダイヤル 0120-70-4156

22-4156

生活サポートサービス、観光タクシー、民間緊急車、自転車キャリー

超便利! スマートフォンでタクシーを呼べる!

GOOD DESIGN 全優等認定店

お墓に関するお悩みに終活カウンセラーがお答えします。

VRお墓参り、お掃除代行、クリーニング、リフォーム、戒名追加彫刻、お墓の引越

青森県仏教会推薦の店 八戸陸上自衛隊協力店会 会員

小向石材工業

0178(52)5706 市川町高森132-92
http://komukai-sekizai.com/

新隊員後期教育

第101高射特科隊



第101高射特科隊は、7月3日(金)から9月18日(金)までの間、八戸駐屯地において、一般陸曹候補生後期2名及び新隊員特技課程2名に対し、一般陸曹候補生後期及び新隊員特技課程教育を実施した。

教育担任官(隊長)の要望する「高射特科隊員としての基本・基礎を確実に身に付けよ」「互いに切磋琢磨し、信頼される隊員になるように努力せよ」を胸に刻み、若き防人らしく澁刺と、猛蒼にも負けず、器材の整備・撤去及び操縦訓練を実施し、担任官要望事項である基本・基礎を身に付け、各小队へ配置された。

第9施設大隊



第9施設大隊は、新隊員特技課程(施設)『第66期まへち隊』教育を7月から9月までの間、実施している。

岩手山演習場において爆破訓練、小川原湖において漕舟検定を実施し、教育隊長要望事項「夢を持って挑戦せよ」「規律の厳守」に基つき、38名の隊員は、施設基礎作業を体得し、それぞれの勤務先部隊において、即戦力となるべく、総合検定に向け、日々の訓練に励んでいる。

新隊員特技課程(施設) 第66期まへち隊

第9施設大隊は、新隊員特技課程(施設)『第66期まへち隊』教育を7月から9月までの間、実施している。

第4地对艦ミサイル連隊



第4地对艦ミサイル連隊は、7月から9月までの間、新隊員15名に対し特技課程教育を実施している。新隊員達は一致団結し、助け合い、時にはライバルとなり切磋琢磨して精強な野戦特科隊員を目指して日夜教育に励む。彼らが訓練している発射機については、数名で運用するものだが様々な環境においても同様の動作を行い射撃を実施し、たとえ一門の火炮1名の隊員となっても諦めない野戦特科精神を日々の訓練で身に付けている。教育終了後、新隊員達は即戦力としてそれぞれの中隊で活躍していく。

第9後方支援連隊



第9後方支援連隊は、令和2年7月1日(水)からそれぞれの期間、新隊員特技課程教育(武器・需品)を実施した。本教育において、武器教育隊長(第1整備大隊長は「訓練精到」を、需品教育隊長(補給隊長)は「需品科隊員としての礎を築け」「高め合え、助け合え」を要望して教育を開始し、隊員たちは武器科隊員及び需品科隊員として必要な基礎的知識や技能等の修得に全力で動んだ。

教育を修了した隊員たちは、各部隊に配置され、それぞれの部隊で新戦力向上のため日々の業務、訓練に励んでいる。

★源たれ唐揚げ



秘伝のレシピ

- 鶏もも肉は厚いところを切り開いて、均等な厚さにそろえ、スタミナ源のタレに2時間程度漬けておく。
- キャベツと人参は千切りにして混ぜ合わせ水に浸してから、しっかり水切りをして冷蔵庫で冷やしておく。
- 漬けておいた鶏肉に片栗粉をまぶし、約180℃に熱した油で10分～12分程度揚げける。
- 洋皿に冷やしておいた千切りキャベツと人参を盛り付け、カットした源たれ唐揚げを盛り付けて完成



栄養		
エネルギー	435 Kcal	
蛋白質	20.9g	
脂質	29.2g	
炭水化物	18.5g	
材 料 (1人分)		
1 鶏もも切身	120g	
2 スタミナ源のたれ	10g	
3 片栗粉	15g	
4 サラダ油 (揚げ油)	100g	
5 キャベツ	40g	
6 人参	5g	

☆八戸煮干ラーメン



秘伝のレシピ

- 鍋に水を張ってだしパックを入れ加熱して出汁取りをする。
- この間にチャーシュー、長ネギ及びなるとかまぼこをスライスしておく。
- 鍋のだしが取れたらパックを取り出し、だしの素、清酒及び煮干ラーメンスープを入れて、味を調整する。
- 冷凍中華麺(又は生麺)を茹で、この間にラーメン丼ぶりにスープを注ぎ入れ、茹でたラーメンを入れスライスしたチャーシュー、なるとかまぼこ、支那竹をトッピングし、薬味の長ねぎを散らして完成

業 養		
エネルギー	456 Kcal	
蛋白質	21.8g	
脂質	10.5g	
炭水化物	64.7g	
材 料 (1人分)		
1 冷凍中華麺 (ちぢれ)	200g	
2 だしパック (煮干タイプ)	4g	
3 だしの素	0.5g	
4 清酒		
5 煮干ラーメンスープ	40g	
6 チャーシュー	30g	
7 支那竹	20g	
8 長ねぎ	20g	
9 なるとかまぼこ (お好みで味付けのり)	10g	

駐屯地業務隊糧食班

笑顔の素敵な栄養士さんが活躍中

- 名 前 西野 沙也香 さん
- 生年月日 平成元年 1月 18日
- 出 身 南部町 (旧福地村)
- 好きな食べ物 ラーメン・果物

★ 栄養士を目指した理由

小さい頃から料理が好きで調理科のある学校に進学しました。調理の基礎知識を学ぶ中で美味しいだけではなくメニューや調理法、食材のバランスを考えながら調理をすることの大切さに気付き栄養士を志しました。

自衛隊栄養士として勤めて3年目となります。自衛隊の中では幅広い年代の方が働いており、また身体作りが主体となる食事が重要となるため日々難しさを感じながらも多くの隊員さんに食事を楽しんでもらえるよう今後も努めていきたいと思っています。

市川飲食店組合

楽しむ! 飲む! 食べる!

自分へのごほうびと、明日へのエネルギー!

飲酒運転追放!!

青い森しんきんは、『地域の皆様の笑顔』と共に歩みます。



青い森信用金庫

ホームページ <http://www.aomorisinkin.co.jp/>

株式会社 第一ホーム

アイフルホーム八戸店

創部49周年 八戸陣太鼓



八戸陣太鼓は、昭和46年に八戸駐屯地隊員有志により、北海道登別市にある幌別駐屯地「北海自衛太鼓」の手ほどきを受け発足し、当時、他駐屯地では地域の祭り等に参加し地域住民の方々と交流を図っており、そこで「八戸駐屯地も何か地域に貢献できるものは何かできないか？」と、いう事で発足したのが八戸陣太鼓である。「地域貢献と隊員の士気向上」を目的に5名の隊員が師である北海自衛太鼓の門を叩き、厳しい指導の下、太鼓の基本や心構えを学び太鼓道に精進した。その努力が実り、「一番弟子」として東北の地に陣を構え、太鼓の輪を広げていく。

令和元年度自衛隊音楽まつり

八戸陣太鼓は、7月13日(8月7日の間、八戸学院光星高校、八戸水産高校、三戸高校)の生徒に対し職場体験学習を実施した。職場体験学習は、学校から依頼を受け、自衛隊の基礎動作、団体行動の体験及び装備品見学等を通じて自衛隊に対する理解と認識を深めて頂くことを目的に実施している。

八戸陣太鼓 部員紹介

太鼓を始めたくっけは、平成9年に第4地对艦ミサイル連隊から陣太鼓要員12名を養成することになりその中の一人が私です。動機は、中隊長に半ば強制的に入部を進められて入部しました。その為、最初は太鼓の姿勢や、基本となる地味な練習がとても辛く、楽しくなかったのが本音です。それでも、毎日仲間と共に練習し、曲を覚え演奏する機会が徐々に増えました。これが長く続けたことはいまだろうと思っております。しかし、その気持ちを変えてくれたきっかけが、自衛隊音楽まつりへの参加でした。演奏後の大歓声と拍手に圧

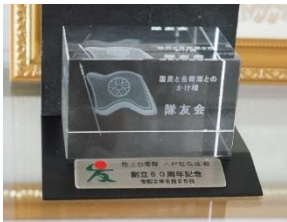


四代目リーダー
瀧川 雅史
太鼓歴：23年

これからの目標は、後輩育成とチーム力の向上です。これからも一つ一つ頂いた演奏の場で、最高の演奏が出来る様に、頑張っていく所存です。応援の程よろしくお願いします。



感謝状



記念品

至本八戸駅 さくら野 はっちや マチニワ
らぶらざ亭
至本八戸駅 屋台村
コンサートホール

営業時間
午後5時～午後11時30分

海のまち八戸の旬で一年中にきわみ層通風

らぶらざ亭

TEL(0178)72-5587

すすきの

2階宴会場も
ございます。

すいどん お茶漬
すすきの

〒031-0034
八戸市常盤小路1
電話番号 0178-45-9295
営業時間 17:00～翌2:00
定休日 日曜日(祝日の場合月曜)

八戸市のリフォームなら!

トップリフォーム

0120-246-994

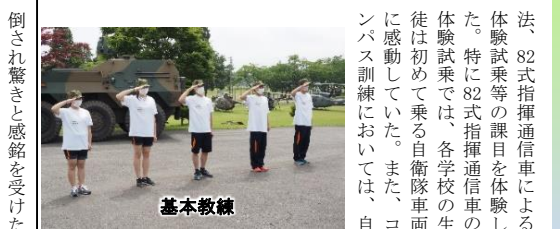
引越ゴミ・不用品処分
ハウスクリーニングなら!

あんしん サポート村

0120-810-401

㈱トップテクノ 八戸市石堂三丁目11-6

駐屯地は、7月13日(8月7日の間、八戸学院光星高校、八戸水産高校、三戸高校)の生徒に対し職場体験学習を実施した。職場体験学習は、学校から依頼を受け、自衛隊の基礎動作、団体行動の体験及び装備品見学等を通じて自衛隊に対する理解と認識を深めて頂くことを目的に実施している。



基本教練



コンパス行進

隊友会からは、国民と自衛隊とのかけ橋として、相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及・高揚に努め、国の防衛および防災施策、慰霊顕彰事業並びに地域社会の健全な発展に貢献することにより、我が国の平和と安全に寄与し、併せて自衛隊退職者等の福祉を増進することを目的に活動している。

隊友会から 感謝状

八戸駐屯地は、令和2年6月25日(木)永年にわたり隊友会の正規会員の入会及び賛助会員の入会促進に協力することにより隊友会の充実発展に多大の寄与をした功績にて感謝状を受賞した。

隊友会とは

隊友会は、国民と自衛隊とのかけ橋として、相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及・高揚に努め、国の防衛および防災施策、慰霊顕彰事業並びに地域社会の健全な発展に貢献することにより、我が国の平和と安全に寄与し、併せて自衛隊退職者等の福祉を増進することを目的に活動している。

高校生職場体験学習

八戸学院光星高等学校
八戸水産高等学校
三戸高等学校

法、82式指揮通信車による体験乗等の課目を体験した。特に82式指揮通信車の体験試乗では、各学校の生徒は初めて乗る自衛隊車両に感動していた。また、コンパス訓練においては、自衛隊特有のコンパスの使用法に戸惑いながらも仲間と協力し課題に取り組みは印象的であった。職場体験学習を終えた生徒からは、『飯が美味しくて、とても楽しかった。』

担当教官のコメント

職場体験学習を担当させて頂きましたが、参加した高校生は、陸上自衛隊の説明、駐屯地に所在している部隊の説明を受けて理解を深めて頂いたと思います。特に、自衛官の基本である基本教練において敬礼や方向変換の練習をした後のコンパス訓練では練習の成果を発揮して方向変換しながら自衛隊のM2コンパスを駆使して体験していました。今後も楽しく、記憶に残る自衛隊らしい課目を考えて、学校教育の一環である職場体験学習の目的及び隊員の募集に寄与できるようにしていきます。

8月転出部隊長の紹介

第9後方支援連隊長

1等陸佐 酒巻 勝
(教育訓練研究本部 目黒)

7月31日付

転出挨拶



錦秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、私事ではございますが、この度、陸上自衛隊教育訓練研究本部主任教官を拝命いたしました。

第38普通科連隊長

1等陸尉 伊藤 裕一
(高等工科大学 武山)

7月31日付

8月転入部隊長の紹介

第9後方支援連隊長

1等陸佐 児玉 龍
(需品学校 松戸から)

8月1日付

第38普通科連隊長

1等陸尉 南出 安文
(第5陸曹教育隊 久留米から)

8月1日付

八戸駐屯地 防衛館

八戸駐屯地にある防衛館は、昭和17年に当時駐留していた米軍が建設した社交場ダンスホールを活用し、昭和44年から、防衛館として使用している。

館内には八甲田雪中行軍遭難、旧軍、郷土資料等が展示されているほか、駐屯地が発足してからの歴史の紹介、東日本大震災を中心とした災害派遣活動の紹介コーナー等を設けている。



八戸駐屯地防衛館

- 開館日 月～金曜日 9時～17時
- 休館日 土日祝日、お盆、年末年始
- 最寄駅 陸奥市川駅より車で5分、徒歩20分
- 見学の際は、連絡又は事前の予約をお願いします。
- 新型コロナウイルス拡大感染防止のため、体調及び体温の確認を実施しています。係の指示に従って下さい。
- お問い合わせ 0178-28-3111(2065) 司令業務室

八戸駐屯地後援会

令和元年7月発足

陸上自衛隊八戸駐屯地後援会は、八戸地区自衛隊協力会や八戸商工会議所など既存の支援組織17団体で構成され、八戸地域の安全・安心の確保と地域経済の発展に重要な役割をはたしてきた八戸駐屯地の諸活動の支援を行うことにより、同駐屯地の円滑な運営、機能の強化に向けた関係機関への働きかけ及び地域への貢献を行うことを目的に発足し、会長には自衛隊・八戸市防災対策検討委員長の坂本美洋氏が就いた。

八戸駐屯地後援会17団体

- 八戸地区自衛隊協力会
- 八戸商工会議所
- 自衛隊・八戸市防災対策検討委員会
- 青森県隊友会三八地域支部
- 八戸市自衛隊家族会
- 青森県銃剣道連盟八戸支部
- 第101高射特科隊後援会
- 八戸陸上自衛隊協力店会
- 第4地对艦ミサイル連隊OB会
- 第9後方支援連隊OB会「みちのく会」
- 第2対戦車ヘリコプター隊OB会
- 八戸駐屯地業務隊OB会
- 第5高射特科群OB会
- 第9施設大隊OB会「勇施会」
- 第9飛行隊OB会
- 第301高射直接支援隊OB会
- 第38普通科連隊八戸地区OB会

る。新型コロナウイルス拡大防止のための人数の制限はありますが気軽にお越しいただけますようお願いいたします。

◇八戸駐屯地からのお知らせ

八戸駐屯地ホームページにおいて八戸駐屯地の活動状況及びイベント情報をお知らせします。

住所 八戸市市川町桔梗野官地 ☎ 0178-28-3111



URL: <https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/hachinohe/>

平和を仕事にする 陸海空自衛官募集



はじめました
検索
『青森地本』
『八戸地域事務所』



詳しいお問い合わせは
青森地方協力本部八戸地域事務所まで
TEL 0178-45-1920

“大切な人を想う”のいちばん近くで。



日本生命保険相互会社 青森支社
【八戸南営業部】川崎 靖子・柏崎 知美
【八戸西営業部】佐々木 桐恵・君島 実可子
【常駐員】長松 弘江・石井 典子

004-20-043

幹事会社 防衛省職員団体年金保険 防衛省職員団体生命保険



八戸駐屯地常駐職員

連絡先:0178-28-3111(内線2257)

職員 防衛省 家族 団体 傷害 保険 退職後

〈団体長期障害所得補償保険〉〈親介護補償特約〉
防衛省 共済組合が ん 保険 団体取扱(アフラック)

〈お見積・資料請求 <http://webby.aflac.co.jp/bouei/>〉
防衛省 共済組合 火災 保険 団体取扱

【取扱代理店】 弘済企業株式会社

詳しくは、下記の保険常駐員にご相談ください。
八戸駐屯地団体保険室 小田桐 牟田
連絡先 0178-28-3111(内線3365)